

令和 6(2024)年度 法学類演習シラバス(掲示用)

授業科目名: 法理学演習	担当教員名〔ローマ字表記〕: 足立 英彦 [ADACHI Hidehiko]	
曜日・時限:	対象学年: 3・4 年	募集人数: 12 名
授業の主題・目標: 正義とは何か?		
<p>授業内容:</p> <p>正義とは何なのでしょう? たとえば弁護士法第 1 条は「弁護士は、基本的人権を擁護し、社会正義を実現することを使命とする。」と定めていますが、この条文で実現することが求められている「社会正義」とは何を意味するのでしょうか? また、なぜ我々は社会正義を実現すべきなのでしょう? このような、一見自明すぎて普段は問うことのない問と取り組むことを法理学ゼミでは行っています。</p> <p>「正義とは何か」という問は、人類が長く問い続けてきた問ですが、多くの正義論の基礎になっているのが、アリストテレスが『ニコマコス倫理学』で述べた、平等＝正義という考え方です。すなわち、何かと何か等しいことは正しいことだという考え方です。交換される物の価値と貨幣の価値が等しければ、または犯罪がなされた場合にその罪の重さと科される罰の重さが等しければ、私たちはその交換や刑罰は「正しい」と感じます。分配において、同じ価値(例えば同じ労働時間)を持つ人に同じもの(例えば同じ額の給与)が分配されれば、私たちは「正しい」と感じます。前期のゼミでは、このような正義理解を、『ニコマコス倫理学』を読みながら再確認しつつ、なぜアリストテレスはこのような正義理解を主張したのか、この正義理解は本当に適切なものか、他の正義理解はないのか等について考えたいと思います。それを踏まえて後期のゼミでは、各自の関心に応じ、さらにアリストテレスの思想に取り組んだり、現代の具体的な課題を正義論の観点から検討したりすることを目標とします。</p> <p>すべての法学類生の履修を歓迎します。なお、当ゼミでは卒論(6 単位)を書いていただきますので、とくに総合法学コースの方には、選択必修枠も埋められて一石二鳥ではないかと思います。</p>		
教科書・教材: アリストテレス『ニコマコス倫理学』(どの翻訳を使うか未定)	参考書: ゼミで指示します。	
関連科目: 「法理学」「政治思想史」	評価の方法: 出席とゼミへの貢献度(報告と発言)、レポート(ゼミ 1 年目の方のみ)を基に評価します。	
履修上の注意事項や学習上の助言: 1 年目の最後にレポートを、2 年目の最後に卒業論文を提出していただきます。過去の卒業論文は私の Web(https://law-kanazawa.info/theses/)に掲載しています。		
学生からの演習に関する質問への対応方法: 1 随時可能 2 オフィスアワー(曜日:火曜昼休み) 3 E-mail(hadachi@staff.kanazawa-u.ac.jp) 4 電話(076-264-5383) 5 その他()		
受講者数調整方法: 定員を超えた場合は、志望理由書と成績に基づき選考します。		